



図書館だより



令和2年9月
宇都宮市立旭中学校図書館
文責：加藤・安達



残暑がきびしい日が続きますが、朝夕は少
し秋の気配を感じる季節になってきましたね。
秋の夜長、夏の疲れの癒しにゆっくりと
本を読むのもいいかもしれませんね。



9月1日は防災の日！

「防災の日」には、自分の地域の防災を確認しよう！

9月1日は、「防災の日」ですが、「防災」は地震
の被害を防ぐことだけではありません。1995年に
発生した『阪神・淡路大震災』は、強い揺れによ
る建物の倒壊と火災による被害が大きく、2011年
に起きた『東日本大震災』は地震による津波も被
害を大きくしました。地域や季節によっては台風
や大雨、なだれなどの被害も考えられます。自分
が住んでいる地域で、どのような災害が起こりう
るのか考えてみましょう。そして災害が起こった
時、どこに避難するのか、また、どのような行動を
とればよいのか知っておくことが大切です。

「今日は何の日？366日大事典」より抜粋

柿くへば 鐘が 鳴るなり 法隆寺



この句は、明治時代の俳人であり歌人でもある
正岡子規が詠んだ句です。奈良県の法隆寺に立ち
寄った後、茶店で一服して柿を食べると、途端に法
隆寺の鐘が鳴り、その響きに秋を感じた、という
のが句意です。

9月19日は、正岡子規の命日です。絶筆となった
3句から糸瓜忌と名付けられました。



教科書掲載本（3年）

時をかける少女

筒井康隆/著

ある日、中学3年生の少女・芳山和子は、同級生の
深町一夫や浅倉吾朗と一緒に理科室の掃除をしてい
ました。その時に、実験室でラベンダーの香りを嗅い
で意識を失ってしまいます。その3日後、深夜に起こ
った地震で、吾朗の隣の家が火事になります。その翌
日に、吾朗と共に交通事故に巻き込まれそうになっ
た瞬間、和子は前日の朝にタイムスリップします。もう
1度同じ1日を繰り返した和子は、一夫と吾朗にこの奇
妙な体験を打ち明けます。最初は信じなかった2人も
、和子が地震と火事を予言した事で、和子の話を受け
入れます。3人の話を聞いた担任である理科教師の禰
島先生は、和子の能力はテレポーションとタイム
・リープと呼ばれるものであることを説明し、事件の
真相を知るためには、4日前の理科室に戻ら
なければならないことを指摘します。4日前
に戻り謎に挑む和子。そこに現れたのはなんと
一夫でした。53年前に発表された作品ですが、
今なお映像化され、広く親しまれた作品です。

旭地域おすすぬ



新着！

こどものための 防災教室

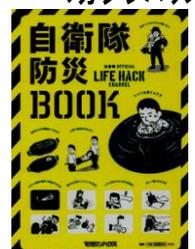
- ・身の守りかたがわかる本
- ・災害食がわかる本

今泉マユ子/著
理論社



自衛隊防災 BOOK

マガジンハウス



先生おすすめの一冊！

図書委員会では、みなさんにもっと読書に親しんでもらえるよう、「先生おすすめの1冊」の冊子を作成しています。

出来上がり次第に各クラスへ配付します。

いろいろな先生のおすすめの本が紹介されています。お楽しみに！！

冊子は、各クラスに一冊ずつ配布します。

朝読の本選びの参考にしてみるのもいいですね！



昨年度の「先生おすすめの1冊」は、このような表紙でした。今年度は、どんな表紙になるかな？

<「先生おすすめの1冊」コーナー作成中！>

図書室前廊下に、「先生おすすめの1冊」紹介特設コーナーを設置中です。

廊下を通った時に眺めることもでき、実物も手に取ってみることもできるように準備しています。もちろん、このコーナーからの貸出もOK！もう少々、お待ちください！



今月のチャレンジ



9月のチャレンジ

「あの本に出てきた料理が食べたい！！」

本に出てきたおいしそうなお料理、食べてみたいと思いませんか？

11月～予定の「旭中 読書月間」での企画「読書コラボ給食」で再現したいと考えています。

ぜひ、みなさんの「あの本に出てきた料理」を教えてください。詳しくは、図書室安達先生まで！



「これ読も☆先生おすすめの1冊」

ちょっとだけ、ご紹介！



校長先生おすすめの1冊



チーム



堂場瞬一/著
実業之日本社

母校代表として箱根駅伝にでられない「敗れた者」たちが構成される『学連選抜』。このチームが挑む本戦の2日間を描いた入魂の駅伝小説です。スポーツ好きな人や、何かに挑戦してみたいと思っている人におすすめの1冊です。

副校長先生おすすめの1冊



星のかけら



重松清/著
新潮文庫

生きるカテになる『星のかけら』は、交通事故現場にしか落ちていません。この『星のかけら』を持っていると、どんな事にも耐えることができます。生きること、死ぬこととは、いったい何なのか・・・生かされている事に感謝したくなる作品です。

大牧先生おすすめの1冊



赤毛のアン

高橋克彦/著
講談社

両親を亡くして孤児院に預けられたアンは、11歳の時に、プリンス・エドワード島のカスパート兄妹に引き取られることとなります。カナダの大自然の中、前向きに、そしてひたむきに生きるアンの姿が描かれた作品です。